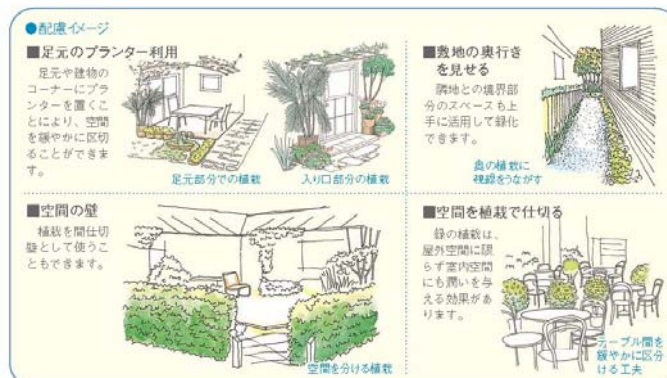
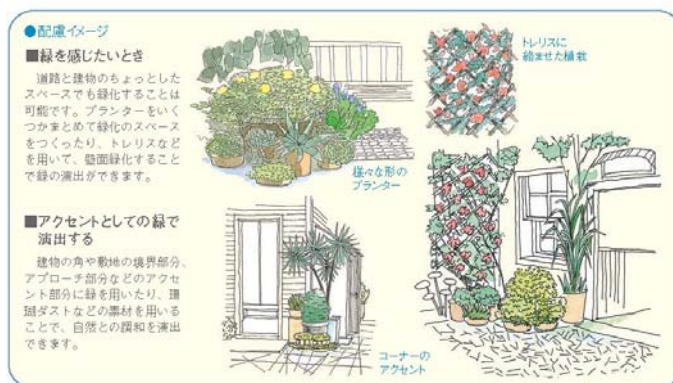


長門湯本温泉 デザインガイドライン追加項目（案）

①緑や花によるもてなしの演出

- 道路と建物のちょっとした空間を緑で演出する
- 建物の角や敷地の角をアクセントとしての緑で演出する
- 緑で空間を緩やかに区切る
- 緑を間仕切りとして空間を区切る
- 緑で空間を演出する



②長門湯本温泉らしさによるもてなしの演出

- 自然素材を活かした特徴的なデザインをする

萩焼の看板への活用
工夫された看板

- 建物の雰囲気而建物の用途を伝える

●配慮イメージ

■自然要素を活かした特徴的なデザインをする
丸木を活用したり、イルカ・ワグワグなどを使用した看板などで小笠原らしさを演出できます。

■小笠原らしい素材を上手く活用する
人工的なものでもできるかわり見せない、偽らないということが小笠原らしさを演出していきます。

■デザイン要素の大きさを工夫する
看板の大きさによって、看板の印象が変わります。

■小笠原らしい筆種をPRする
シーカヤックのオールなどを演出素材として活用すれば、見ただけでお店のイメージが伝わります。

●ポイント

■建物の雰囲気而建物の用途を伝える
小笠原の場合、筆種ごとに建物のつくり方に特徴があります。そういった雰囲気をつくりだしていくことも、小笠原らしさを考えるうえでは重要な取り組みです。

■森に囲まれた、デッキ上での飲食スペースは、雨の日の内装に換えながら営業をしたいと思わせる効果があります。

■森に囲まれた、デッキ上での飲食スペースは、雨の日の内装に換えながら営業をしたいと思わせる効果があります。

■森に囲まれた、デッキ上での飲食スペースは、雨の日の内装に換えながら営業をしたいと思わせる効果があります。

■森に囲まれた、デッキ上での飲食スペースは、雨の日の内装に換えながら営業をしたいと思わせる効果があります。

③長門湯本温泉らしいシーンづくり

- 川を眺める場所をつくっていく
川床
置き座
足湯
川沿いのベンチ等
- 沿道のにぎわいをつくっていく
通りに活気を生み出す外部デッキ
(歩行者との視線をずらす)
人を引き込む沿道の商品陳列
人目につく部分の修景(店構え)
開放的な低層階(店舗)

●配慮イメージ

①屋外空間における取り組み

■通りに活気を生み出す外部デッキ
デッキ上の飲食スペースは、雨の日の内装に換えながら営業をしたいと思わせる効果があります。

■歩行者との視線をずらす
デッキのうえの休憩スペースは、通りを行き交う歩行者との視線をずらすことができます。

■人を引き込む商品陳列
屋外空間での商品陳列は、店内へ人を引き込む効果があります。

■人目につく部分の修景を行う
通りに面した部分を積極的に装飾することによって、小笠原ならではの賑やかな雰囲気をつくりだせます。

■様々な要素と重ね合わせる
看板や看板、デッキなど様々な要素を重ね合わせることで、賑わいをつくりだすことができます。

②建物部分における取り組み

■開放的な低層階
通りに面した低層階はできるだけ開放的なものにして建物の内部を見せるようにすると、お店の様子が見え、歩いている人を建物に引き込む効果があります。

■通りに面した部分をガラスにする
通りに面した部分をガラスにする

■通りに面した部分をスチールにする
通りに面した部分をスチールにする

③長門湯本温泉らしいシーンづくり

- 落ち着ける憩いの場つくっていく
緑に囲われた空間をつくる
楽しい雰囲気伝わってくる前庭
や中庭



- 誰もが安心して生活できる空間を
つくっていく
バリアフリー



④川床・置き座のデザインガイドライン

- デザイン基準(意匠・素材・規模・色彩・用途)
- 構造基準
- 設置基準

⑤道路空間の占用のルール

- 車・露店・オープンカフェ・テント・看板・椅子・ベンチ・机・植栽・照明
- デザイン基準？参考例の紹介？
- 設置基準

⑥川中空間の占用のルール

- 看板・椅子・ベンチ・机・植栽・照明
- デザイン基準？参考例の紹介？
- 設置基準